

目的

本研究所は、本学の生命科学・生活科学を研究テーマとする学内教員を組織し、人が生涯を通じて健康で心豊かな生活を過ごすための研究・開発と、安全・安心な社会環境構築のためのイノベーション創出を目指して、2016年4月に設置されました。

少子高齢化社会における社会的諸問題に対応して、「こころ」と「からだ」の両側面から、

- ① 健やかで活力と意欲ある子どもたちの育成
 - ② 一生を通じたQOLの向上と健康維持
 - ③ QOLを維持した健康寿命の実現
- を目標に、基礎から応用までの研究・開発を推進します。

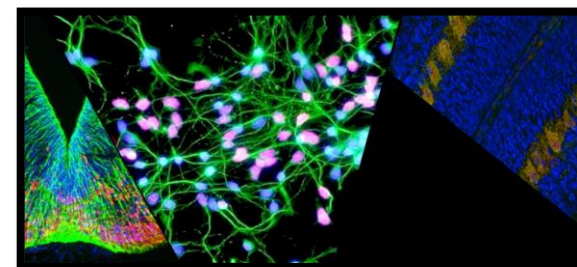
◆お茶の水女子大学では、人間の発達段階に即した心身の健康と生活環境の向上を意図したイノベーションを実現する教育研究拠点として、本学のこれまでの教育研究の実績や人材育成の経験を活かし、更に発展させるよう、総合的、国際的な研究・教育活動を行うことを目的とした「ヒューマンライフイノベーション開発研究機構」を、2016(平成28)年に開設しました。本機構は、「ヒューマンライフイノベーション研究所」と「人間発達教育科学研究所」の2つの研究所で構成されています。



〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学 アカデミックプロダクション棟202室
ヒューマンライフイノベーション研究所事務局
Tel/Fax: 03-5978-2571
E-mail: office-ihli@cc.ocha.ac.jp
URL: <http://www-w.cf.ocha.ac.jp/ihli/>

お茶の水女子大学 ヒューマンライフイノベーション研究所 Institute for Human Life Innovation

健やかで活力ある人生を作る「こころ」と
「からだ」の健康イノベーション創出
— ヒューマンライフイノベーション研究所
による研究と開発 —



<http://www-w.cf.ocha.ac.jp/ihli/>

お茶の水女子大学
ヒューマンライフイノベーション研究所
Institute for Human Life Innovation

組織と研究内容

ヒューマンライフイノベーション研究所には、「生化・代謝学部門」、「栄養科学部門」、「食品科学部門」、「糖鎖科学部門」、「遺伝学部門」および「発生・進化学部門」を設け、以下のキーワードを中心に研究を推進します。

○健やかな育ち

健やかで活力と意欲ある子どもたちの育成

我が国の将来を支える若い世代がより元気に成長するために、心身の健全な発達のための食習慣提案のための研究を行います。

○活力ある暮らし

QOLの向上と健康維持

一生を通じてストレスや疾患に負けない「こころ」と「からだ」を作るため、炎症・感染症、メタボリックシンドロームの予防や改善のための研究・開発を行い、思春期から子育て世代まで、様々な世代に向けた教育プログラムをつくりまします。

○元氣な老い

QOLを維持した健康寿命を実現

ロコモティブシンドロームや神経変性疾患の改善や治療に結びつく研究と開発、高齢者のための食や運動に関する研究を推進し、高齢者自身による自己管理能力の増進を図るための研究・開発と実践を行います。

○応用・開発

企業や他機関との連携による医薬品等の開発研究

企業等との連携により、「変形性関節症治療薬の開発」、「外傷性脳損傷や出血性ショックに伴う炎症の抑制に向けた研究」、「生活習慣病予防や高齢者のQOLに資する食品の開発」など、生涯を通じて健康で心豊かな生活を過ごすための研究・開発を目指します。

研究成果の波及効果

○生命現象の基本的理解、新たな調節方法の創出や生命活動の理解の進展（学術的効果）

○ストレス、生活習慣病や老化に伴う疾患の克服方策に関する研究開発による健康長寿の推進。
子どもの健やかな成育、人々の生活の質の向上、高齢者の活力ある生活スタイルの実現（社会的効果）

構成メンバー

所長：

教授 藤原 葉子（栄養化学）

教員：

准教授 宮本 泰則（神経生物学）

特任准教授 石川 朋子（栄養化学）

特任准教授 後藤 真里（脂質生化学）

特任講師 伊達 公恵（糖鎖生化学）

研究員：

教授 相川 京子（糖鎖生物学）

教授 赤松 利恵（栄養教育学）

教授 飯田 薫子（生活習慣病学）

教授 小川 温子（糖鎖生化学）

教授 香西 みどり（調理科学）

教授 加藤美砂子（植物生理学）

教授 小林 哲幸（脂質生化学）

教授 千葉 和義（分子発生生物学）

教授 服田 昌之（サンゴ生物学）

教授 本田善一郎（アレルギー・リウマチ学）

教授 三宅 秀彦（臨床遺伝学）

教授 村田 容常（食品加工貯蔵学）

教授 森光康次郎（食品機能化学）

教授 由良 敬（計算生物学）

准教授 近藤 るみ（集団遺伝学）

准教授 須藤 紀子（災害栄養学）

准教授 棚谷 綾（創薬化学）

講師 市 育代（脂質栄養学）

助教 佐々木元子（遺伝カウンセリング学）

助教 佐藤 敦子（環境発生進化学）

助教 馬橋 英章（栄養工学）

助教 毛内 拡（神経生理学）

事務局：

アカデミックアシスタント 保坂 好江

アカデミックアシスタント 栗本 京子

ヒューマンライフイノベーション研究所の取り組み

活力ある暮らし

QOLの向上と健康維持

【研究テーマ例】

- 肥満、メタボリックシンドロームの発症機構解明
- 生活習慣予防に有効な脂質栄養
- 外傷性脳損傷や出血性ショックに伴う炎症の抑制
- 女性の健康寿命延長を目指した適切な食摂取

健やかな育ち

健やかで活力と意欲ある子どもたちの育成

【研究テーマ例】

- 女子学生の食生活調査
- こどもの食嗜好の質的变化

QOLを維持した健康寿命を実現

【研究テーマ例】

- 高齢者の栄養状態の評価
- 高齢者のQOLに適した食品の開発
- フレイルティやロコモティブシンドローム予防のための食と運動
- 神経性疾患の予防と改善

元氣な老い

企業や他研究機関との連携による医薬品等の開発

